

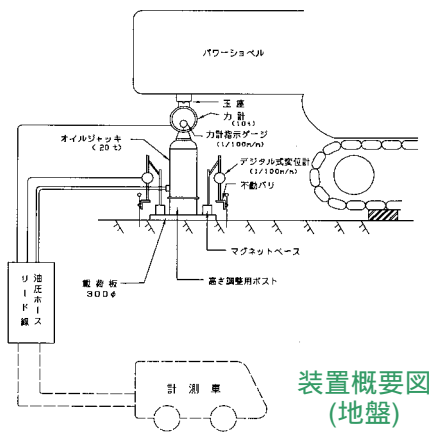


平板載荷試験

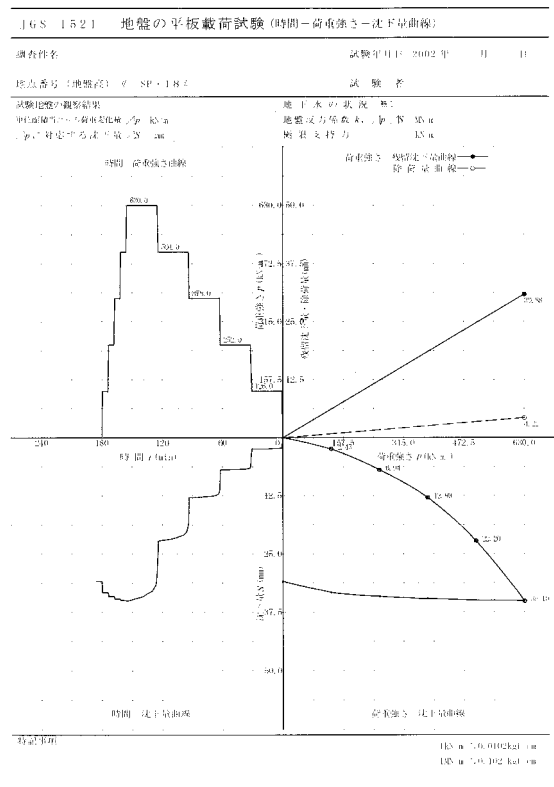
平板載荷試験は、原地盤に剛な載荷板を介して荷重を与え、この荷重の大きさと載荷板の沈下との関係から、ある深さまでの地盤の変形や強さなどの支持力特性を調べるための試験です。

平板載荷試験の種類

規格・基準	地盤の平板載荷試験 (JGS 1521)	道路の平板載荷試験 (JIS A 1215)
適用地盤	構造物基礎	道路、空港、鉄道、タンク基礎
試験目的	地盤反力係数、極限支持力の算定	地盤反力係数の算定
載荷板直径	30 cm以上	30, 40および75 cm
載荷方法	除荷を含む繰返し載荷、単調載荷	漸増方向に単調載荷
荷重段階	計画最大荷重を5~8段階以上に等分割	35 kN / m ² (0.35 kgf / cm ²) 間隔
載荷時間	30分程度の一定時間 (除荷は5分程度)	1分間の沈下量がその荷重段階の沈下量の1%以下に達するまで



装置概要図 (地盤)



試験結果



記録装置



載荷装置